

資料6

平成25年7月31日

平成25年度 返還促進に係る機構の取組み

	平成24年度返還促進策等検証委員会報告	平成24年度返還促進策等検証委員会報告を受けた平成25年度の機構の取組み
奨学生や返還者と機構・学校との間のコミュニケーションの強化	ア. 貸与中の返還指導 ・返還意識の涵養 ・金銭に関するリテラシーの指導	○返還シミュレーションを活用した指導方法の開発と周知 ・奨学金希望者が、学生生活及び貸与終了後の生活をシミュレーションするための教材を高等学校に提供することの検討 ・奨学金貸与中の者の借り過ぎを防止し、返還意識の涵養のため、返還シミュレーションを活用した指導方法の開発 ○学校担当者への情報提供の充実 ・高等学校担当者に対する情報提供の充実 ・奨学金貸与中の学校担当者に対する情報提供の充実
	イ. 貸与中の指導方法 機構や学校が行っている返還関係の資料提供や説明会が、学生に有効に活用されるよう、必要に応じて工夫・改善	①情報提供 ・大学等の教職員に事務連絡メール(月1回) ・「月間高校教育」に記事連載(平成24年4月号から継続) ・学校関係団体の会議における資料配布 (全国高等学校長協会、全国高等学校PTA連合会、全国専修学校各種学校総連合会) ②情報共有 ・奨学金事務新任者研修会開催(4地区、計6回) ・日本私立大学協会、日本私立大学連盟との懇談会実施 ・学校等協会総会において奨学金事業の説明及び協力の要請 (国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学協会、日本私立大学連盟、学校法人立専門学校協会) ・学校訪問を実施(7月～8月においては6校への訪問を予定)
	ウ. 返還者とのコミュニケーションの強化 機構から返還者への文書や案内の工夫	○「採用案内」・「奨学生のしおり」・「返還のてびき」の改善(奨学金制度に関する理解の促進) 読みやすく改善することにより、奨学金制度及び必要な手続きについて理解を深める ○機構から発信するハガキ・封筒・チラシ等の改善(返還に関する理解の促進) ・返還者に読んでもらえるよう、目に留まりやすい印刷物を工夫 ・返還者が不備なく手続きをできるように、掲載情報を整理し、わかり易い文章やレイアウトを工夫 ・「支払督促申立予告」の予告 ・個人情報情報機関に係る制度周知

	平成24年度返還促進策等検証委員会報告	平成24年度返還促進策等検証委員会報告を受けた 平成25年度の機構の取組み
返還しやすくするための工夫	返還しやすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ○新規返還開始者に係る減額返還の申請手続きの簡素化 ○インターネットを活用した線上返還手続きの簡素化・迅速化 返還者がスカラネットPSを利用して線上返還申請をすることを可能とするため、システム改修を実施
奨学生や返還者に関する情報収集・更新と分析	奨学生や返還者に関する情報の収集・更新	<ul style="list-style-type: none"> ○就業状況調査 ○属性調査 ○就職先等の情報の収集・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・口座申込用紙のフォーマットの改善 ・ホームページや返還説明会等におけるスカラネットPSへの誘導 ○継続願をスカラネットPSから行うことの検討 スカラネットPSへの全員登録の促進
	返還者の属性分析	<ul style="list-style-type: none"> ○属性分析 就業状況調査及び延滞者の属性調査より、延滞要因を分析し、より返還しやすい方策を検討
法的措置の強化	連帯保証人等に対する強制執行手続き	<ul style="list-style-type: none"> ○債務名義取得後、返還のない連帯保証人に対する強制執行手続きの確実な実施